



わたしのふるさと富士山

7

型染めと文

三井直子さん

今泉四丁目二一〇



富士山に対するコメント

私の故郷には、「<sup>ほうき</sup>伯耆富士」と異名を持つ懐かしい大山があります。小学校から高校まで、遠足といえど大山というくらいのも、遊びの対象としての身近な山でした。

一方、ご本家の富士山は初めは新幹線からの幸運だったり大都会からごくまれに、はるかかなたにポーと浮かぶ山でした。

富士市に住み始めたころは、市内から見る宝永山のある富士山のすばらしさを発見して驚いたものです。そして、ほとんど毎日仰ぎ見てなおその美しさは比類なく、いつも大きく高くそびえ続けています。

こちら編集室

編集室には怪物がいる。一人は見るからにそれらしき大男。あだ名はムーミンちゃん。腹の出ぐあいがそっくりで、彼の娘さんがつけたとか。

もう一人は、毎日昼休みにジョギングで汗を流し、ウエイトの調

整に励む筋肉マン。2人とも甘い物には目がなくて、きょうもきょうとて、まんじゅうをパクパクと、意外にやさしいところや思いやりもあって、私にも一つ分けてくれました。ごちそうさま!

(食べ物に弱い3人目の怪物)

毎月5日号の表紙を飾っているのは、「ここに生きる」。シリーズでお送りしています。ただいま、この表紙にふさわしい人を募集中です。地道に頑張っている人、笑顔がまぶしいさわやかさん、この道一筋の職人さんなど。知り合いにいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。☎51-0123(内線2823)広報広聴課まで。



広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています